
リスナー's

傾奇者

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リスナー's

【Nコード】

N4205D

【作者名】

傾奇者

【あらすじ】

眠れぬ夜につけたラジオから聞こえて来たのは《変人毒舌DJ》
が送る生放送のラジオ番組【スマイル2008円】。一癖あるDJ
とおバカなリスナー達によって眠れない夜がくる!…はずだ。

スイッチオン（前書き）

初投稿で見切り発進！最初に謝っておきます。ごめんなさい。

スイッチオン

深夜1時58分。

「もうこんな時間か…」

僕は時計を見て呟いた。

ノートの上の手を休め、椅子の背もたれにもたれ掛かった。

明日（正確には今日）はテストがある。

そのために勉強していたのだが、いまいちやる気が起きない。

さつきから手を休めては雑誌を読んだり、携帯をいじったりの繰り返しだ。

まあ、テストなんて赤点さえ免れればいい。なんて思ってるお気楽な考え。勉強机に座ったのも0時を回ってからだった。

もう寝ようか？などとも考えていたが、まだ睡魔は襲ってこない。眠くないのに布団に入って目をつぶっても、変な妄想ばかり頭の中を駆け巡り、逆に眠れなくなるのが僕の体質なのだ。

前にも布団に入っただけいいが、RPGのモンスターに自分を置き換えた妄想をしてしまい、勇者のパーティーを倒す方法を考える座談会を一人四役で演じきり、気付いたら夜が明けていたこともあった。

また違う日には定番の羊を数えたりもしたが、125匹目から羊が二足歩行になりムーンウォーク、欽ちゃん走りはもちろん、ダンサー羊や宝塚羊まで出て来る始末。

842匹を越えた辺りから羊戦争が勃発し、多数の戦羊を亡くしながらも戦争に勝利したところで夜明けに気付く。

まあ大概は0時前には眠りにつく健全な若者だが、妄想を始める
と中々止まらなくなるのが僕、【カヅキ16歳】。

とまあ自分の妄想癖の話をしたところで物語とは一切関係なく、
このあと妄想以外で眠れぬ夜を過ごすことになるとは、今はまだ自
分でも知らない。

それは、暇潰しにラジオをつけたことから始まった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4205d/>

リスナー's

2011年1月9日02時33分発行